

科目名	映像リテラシーA2						年度	2025	
英語科目名	Image Literacy A2						学期	後期	
学科・学年	放送芸術科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	佐藤帆奈美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		

【科目の目的】

様々なジャンルの映像制作の実際の現場を知り、企画構成から納品までどのように各部署がコミュニケーションを取りながら進めているのかを理解し、実践的に使用できる知識とスキルを身につける。また知識だけを学ぶだけではなくグループワークなどの課題を通して能動的に思考する力を身につける。

【科目の概要】

TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。

【到達目標】

基本的な映像制作の知識を得て各ポジションで何を求められているかを理解する。社会に出てから必要となる能力を具体的にイメージする。自らの発想やアイデアを臆することなく発表できるようになる。様々なジャンルの映像を観て学んで構成の仕組みを理解し、実際に企画構成を立てて考察することができるようになる。また発想や表現におけるオリジナリティを重視できる考え方を持つことも合わせて目標とする。

【授業の注意点】

適宜課題を提出してもらおう。課題には毎回締切を設け、締切を過ぎた課題提出は認めない。また理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。そして授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力		
到達目標 A	制作と技術の違いが分かり、番組ができるまでの流れを細かく理解している	制作と技術の大まかな違いが分かる。生放送と収録の違いは理解している。	制作と技術の違いを理解できていない。		
到達目標 B	制作の役割を理解できている。番組を作るうえで制作部がどんなことをしているか知っている	番組ができるまでを大まかに理解している	制作の役割をあまり理解できていない		
到達目標 C	演出において、台本以外の業務を理解し考えることができている	台本作成以外のキャストティングなどの仕事を理解している	演出のことをあまり理解できていない		
到達目標 D	番組の内容だけではなく、権利関係や外部との対応の仕方を理解して行うことができる	著作権など法律順守の重要性を理解している。	著作権等のライセンスがあることを知っている		
到達目標 E	番組ができるまでの流れを把握できていて、演出の意図を理解している。また、撮影中以外の制作の役割を知ることができる。	番組全体の仕組みは把握できている。制作の演出面は把握しているが、それ以外の業務の理解が浅い	番組の流れは理解しつつあるが、演出面の理解は浅くそれ以外の業務は理解していない。		

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		映像リテラシーA2			年度	2025
英語表記		Image Literacy A2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	映像業界を知る①	番組作成に携わる スタッフの理解を さらに深める	1 各部門のスタッフ	あらためて番組に携わる人々を知る	3	
			2 こんな部署もあります	学校では教えていない仕事紹介		
			3 制作の内部	P、D、AD以外の役職を知る（TK、APなど）		
2	映像業界を知る②	番組作成に携わる スタッフの理解を さらに深める	1 裏方の裏側	映像業界の裏方の仕事への理解を深める	3	
			2 業界の常識	映像業界での一般常識を知る		
3	制作の仕事って①	制作の働き方を知る 労働時間は守られるようになったが、成長しづらい環境にもなった	1 制作のとある1日	生放送スタッフと収録番組スタッフの一日（AD）を知る	3	
			2 昔と今の働き方	昔は現在より労働時間も多く、仕事量も多かったことを知る		
			3 デメリット	働き方改革により守られているけど悪い点もあることを知る		
4	制作の仕事って②	演出が実際どんなことなのかを理解する	1 演出とは？	台本や脚本を考える（読み方、違いも知る）	3	
			2 どこが演出？	制作の演出の手がどこまで入っているかを知る		
			3 世の中を知る	制作をやるうえで様々な職種を知ることも必要		
5	台本と ナレーション作り	台本読み方、作り方を理解する。 ナレーション原稿を知る	1 台本	出演者に頼らない台本作りと台本に内容を理解する	3	
			2 ナレーション①	ナレーションを収録する上で必要な作業を知る		
			3 ナレーション②	イントネーションや放送用語への知識を深める		
6	キャスティング	番組に合わせた キャスティング方法を 理解する	1 キャスティング	番組に合わせたキャスティング、やり方を知る	3	
			2 オーディション	オーディションのやり方、見るポイントを学ぶ		
			3 出演者対応	出演者の立ち位置を理解する		
7	ロケ番組①	多岐にわたるロケ撮影の違いを知る	1 旅番組とは	旅番組の作り方をおおむね理解した	3	
			2 実践	リサーチをして組み立てることで番組の仕組みを理解する		
8	ロケ番組②	多岐にわたるロケ撮影の違いを知る	1 実践	リサーチをして組み立てることで番組の仕組みを理解する	3	
			2 発表	プレゼン力と他の発表を聞くことで、他の意見を学ぶ		
9	制作の 意外な仕事	台本だけ作っているのではなく、制作の深い仕事を知る	1 制作の知識	技術からは見えない制作の仕事を知ってもらう	3	
			2 これも制作の仕事	クイズ案を考えることも		
10	ドキュメンタリー	社会に出るうえで 放送業界以外でも 必要な著作権の知識	1 ドキュメンタリーとは	フィクションとノンフィクションの違いを理解している	3	
			2 ドキュメンタリーとは	ドキュメンタリーでも様々な形態があることを理解した		
			3			
11	著作権や さまざまな権利	社会に出るうえで 放送業界以外でも 必要な著作権の知識	1 商標登録	番組内で商標登録された商品の扱いを知る	3	
			2 音事協とは？	映像の2次利用について考える		
			3 その画像大丈夫？	画像を使用する際の注意点を知る		
12	視聴者対応 クレーム処理	社会に出るうえで 放送業界以外でも 必要な先方への知識	1 ロケ対応	公共な場で撮影をしているときの対応	3	
			2 電話対応	視聴者からの入電時の対応		
13	外部での 撮影において	ロケ撮影の常識 スタジオ使用にも特別な申請をする場合があるという知識をつける	1 ロケ撮影	外での撮影での配慮や原状復帰などの常識を知る	3	
			2 スタジオ収録	火気使用など特記事項で別途申請があることを知る		
14	後期試験対策	復習を兼ねながら後期の授業内容を理解する	1 後期試験対策	後期の授業を通してのポイントを復習する	3	
			2 冬休み課題	冬休み課題の説明と意義を知る		
15	冬休み課題の結果発表と批評	総まとめ	1 成果発表		3	
			2 総評			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等